

マイクロカセット™コーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

M-640

Sony Corporation © 2001 Printed in China

| | |
|---|--|
| <p>マイクロカセットコーダー M-640</p> <p>T11-1001A-1</p> | <p>テープA面には小さなくぼみがあり、暗いところでもA面B面の区別ができます。</p> <p>約5mm</p> <p>約2.5mm</p> <p>「MICROCASSETTE」のテープ</p> <p>「MICROCASSETTE」以外のテープ</p> <p>あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。</p> |
| <p>主な特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池の消耗を2段階で知らせる電池ランプと電池の交換時期を知らせる⌘(電池交換)ランプ。 再生の速度を普通の速度より速め、効率良く聞き返すのに便利な、ファーストプレイバック(速聞き再生)機能。 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR(自動音声録音スタート)機能。 24時間連続録音(アルカリ単3形乾電池使用時)。 お手持ちのヘッドホンを使って両耳で聞くこともできる、L/Rモノラル出力。 再生モードから直接録音モードにできる後追い録音機能。 テープカウンター 停止ボタンを押すと一時停止も解除される、ストップポーズリリース機能。解除を忘れて録音チャンスを逃してしまふ失敗を減らします。 | <p>ご案内</p> <p>ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。</p> <p>テクニカルインフォメーションセンター 電話：048-794-5194 受付時間：月～金 午前9時から 午後6時まで (祝日、年末年始、弊社休日を除く)</p> <p>ご相談になるときは次のことをお知らせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 型名 故障の状態：できるだけ詳しく お買い上げ年月日 <p>http://www.sony.co.jp/</p> |
| <p>ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35</p> <p>お問い合わせはお客様ご相談センターへ</p> <p>●ナビダイヤル……………0570-00-3311 受付時間：月～金 9:00～20:00 (全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)</p> <p>●携帯電話・PHSでのご利用は……………03-5448-3311 土・日・祝日 9:00～17:00</p> <p>●Fax ………………0466-31-2595</p> | |

安全のために

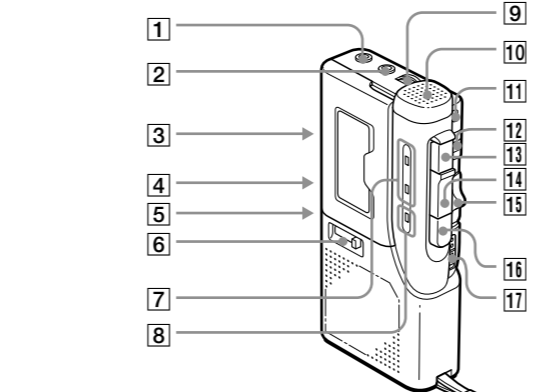
警告

- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- マイクロカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- カセットテープは「MICROCASSETTE」の表示があるものをご使用ください。この表示のないテープは、このマイクロカセットコーダーでは使用できない場合があります。

各部のなまえ



- イヤホンジャック
- マイク(プラグインパワー)ジャック
- VORスイッチ
- TAPE SPEED切り換えスイッチ
- DC IN 3Vジャック
- テープカウンター
- 電池ランプ
- ⌘(電池交換)ランプ
- 音量▶つまみ
- マイク
- 録音ランプ
- ←一時停止スイッチ
- (録音)ボタン
- ◀(再生)ボタン
- キュー/◀◀(早送り)・▶▶(巻戻し)/レビューつまみ
- ▶■(停止・カセット取り出し)ボタン
- ファーストプレイバック→スイッチ

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

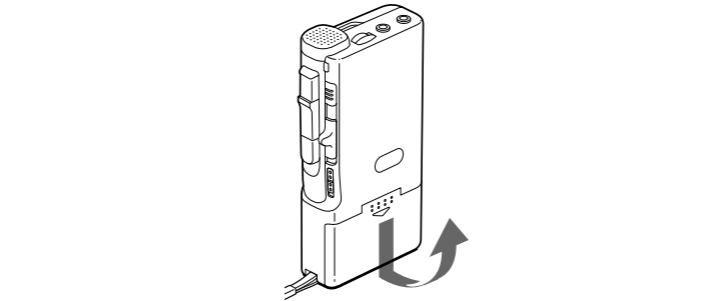
当社ではマイクロカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

準備する

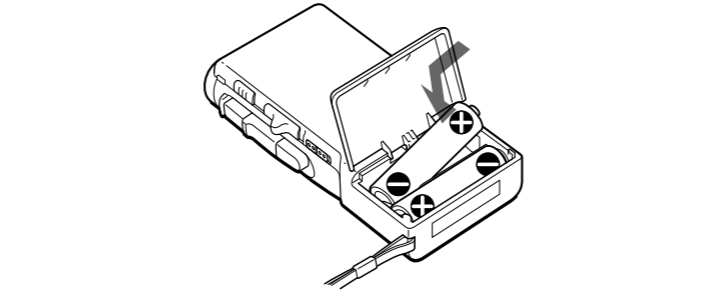
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

1 乾電池を入れる

- ①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる



- ②単3形乾電池2本を入れる。図のように必ず2本とも⊖側から入れてください。

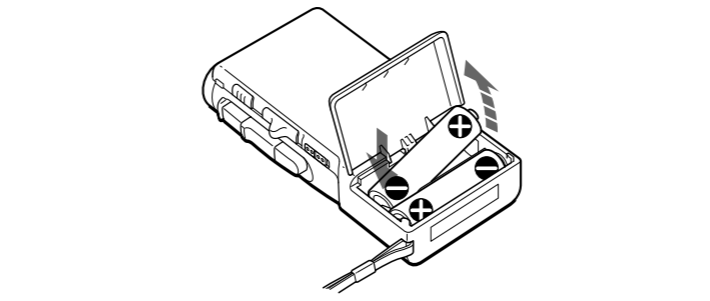


乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

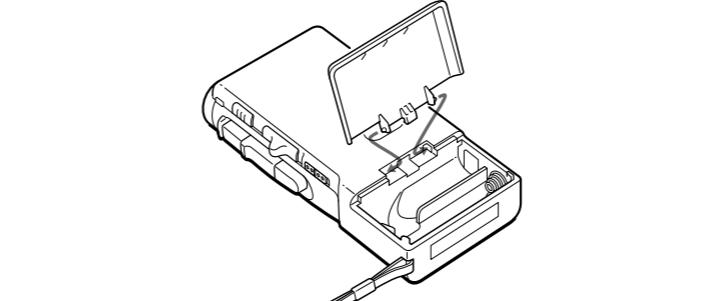
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは

電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のようにふたを少しまげて取り付けてください。



録音する

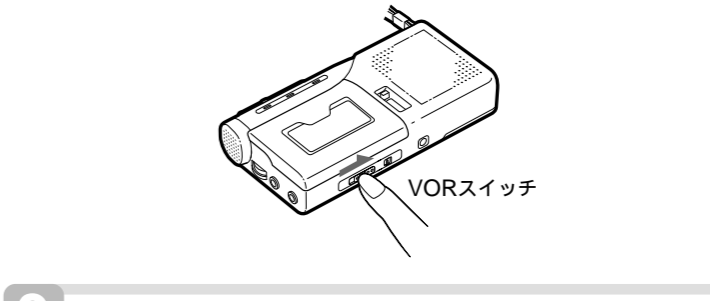
内蔵マイクですぐに録音できます。

1 カセットを入れる

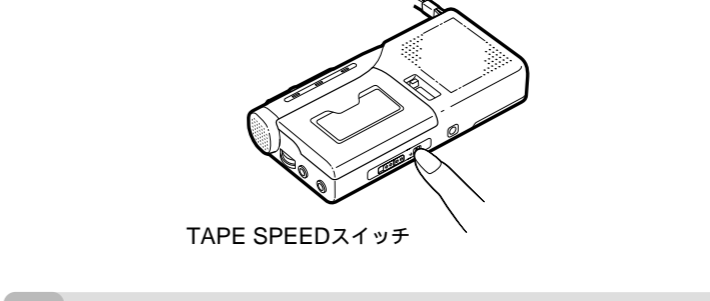
- ①▶■を押してふたを開ける
- ②録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- ③ふたを閉める

2 VOR(自動音声録音スタート)機能を「OFF」にする

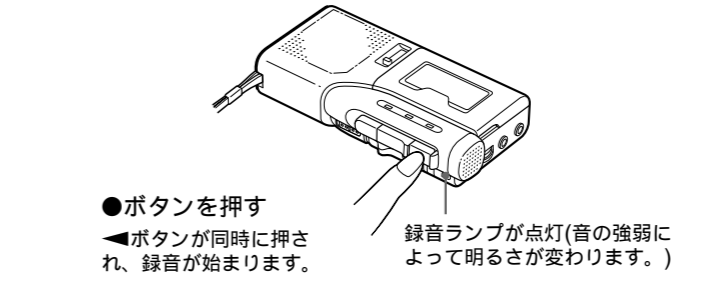
ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能を「OFF(切)」にしておいてください。VOR機能を使った録音については「いろいろな録音のしかた」をご覧ください。



3 テープ速度を選ぶ



4 録音する



| | |
|-----------|---|
| 操作 | 押すボタン、ずらすつまみ |
| 録音を止める | ▶■ |
| 一時停止する | ←一時停止を矢印の方向にずらす(録音ランプが消灯する)。一時停止を解除するには、←一時停止を元に戻す。 |
| カセットを取り出す | ▶■ |

テープを聞く

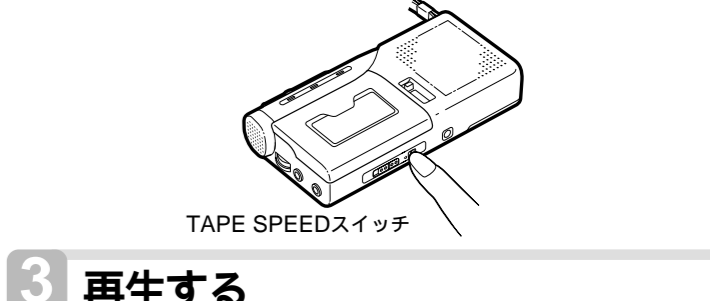
内蔵スピーカーから音が聞こえます。

1 カセットを入れる

- ①▶■を押してふたを開ける
- ②再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる
- ③ふたを閉める

2 テープ速度を選ぶ

録音したときの速度に合わせます。



3 再生する

- ①◀ボタンを押す
- ②音量▶つまみで音量を調節する

| 操作 | 押すボタン、ずらすつまみ |
|--------------------------|---|
| テープを止める | ▶■ |
| 一時停止する | ←一時停止スイッチを矢印の方向にずらす(録音ランプが消灯する)。一時停止を解除するには、←一時停止を元に戻す。 |
| 早送りする* | 停止中にキュー/◀◀▶▶/レビューつまみをキュー/◀◀の方向にずらす。 |
| 巻き戻す* | 停止中にキュー/◀◀▶▶/レビューつまみをレビュー/▶▶の方向にずらす。 |
| 音を聞きながら早送りする(キュー) | 再生中にキュー/◀◀▶▶/レビューつまみをキュー/◀◀の方向にキューにずらす(指を離すとそこから再生する)。 |
| 音を聞きながら巻き戻す(レビュー) | 再生中にキュー/◀◀▶▶/レビューつまみをレビュー/▶▶の方向にずらす(指を離すとそこから再生する)。 |
| 速聞きする** (ファーストプレイバック) | ファーストプレイバック→スイッチを矢印の方向にずらす。 |

* 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくとう電池が急激に消耗するので必ず▶■ボタンを押してください。

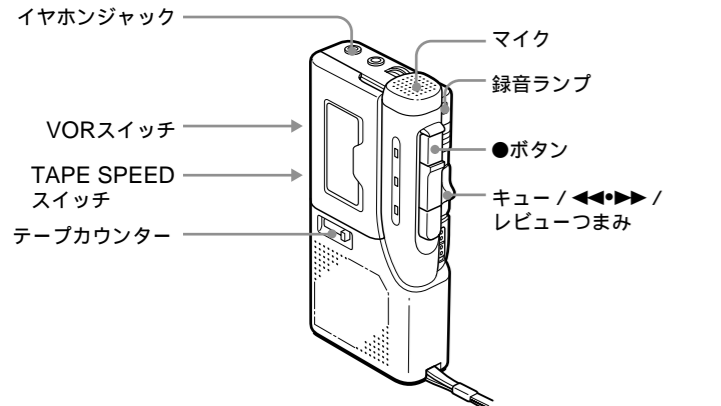
** 録音中はファーストプレイバック機能は使えません。

別売りのヘッドホンをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます(ただし、音声はモノラルです)。

ご注意

再生中に早送り(キュー)や巻き戻し(レビュー)をしてテープの端まで巻き取られたとき、指を離してもキュー/◀◀▶▶/レビューつまみが中央に戻らないことがあります。このような場合は、つまみを中央に戻すと再生が始まります。

いろいろな録音のしかた



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターのリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。

テープ速度を選ぶ

TAPE SPEED切り換えスイッチでテープ速度を選びます。

2.4cm：通常の録音をするとき

「1.2cm」のときより良い音で録音できます。

1.2cm：テープを2倍の長さを使って録音するとき（MC-60を使うと往復120分の録音ができます。）

ご注意

・再生は必ず録音と同じテープスピードで行なってください。他のマイクロカセットレコーダーで再生する可能性のある場合は、なるべく2.4cm/sの速さで録音してください。1.2cm/sの速さで録音したテープを、他のマイクロカセットレコーダーで再生すると、再生音が異なる場合があります。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「H(高)」または「L(低)」に切り換えておきます。●ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間はがぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分が無くなり、テープが有効に使えます。

| 録音状態 | つまみの位置 |
|------------------------------|--------|
| 小さな音でも録音が始まる(会議などを録音するとき) | H(高) |
| 比較的大きな音のときだけ録音が始まる(口述録音するとき) | L(低) |

ご注意

・VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてVORスイッチを「H(高)」または「L(低)」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「OFF(切)」にしてください。
・音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「OFF(切)」にしてください。

録音中の音を聞くには

別売りのイヤレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定で音量▲つまみで調節することはできません。

後追い録音をする

再生中に●ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

録音中にキュー／◀◀・▶▶／レビューつまみをレビュー／▶▶の方向にずらすとテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

外部マイクや他の機器から録音する

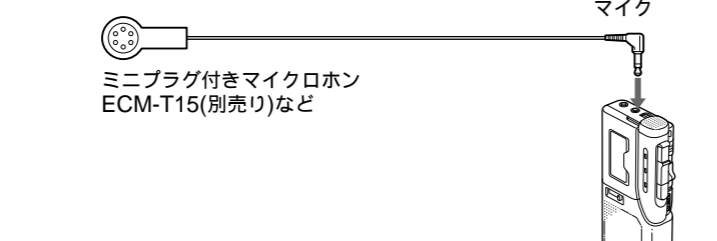
状況に合わせてVOR機能もお使いいただけます。

ご注意
録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク(別売り)から録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、●ボタンを押します。

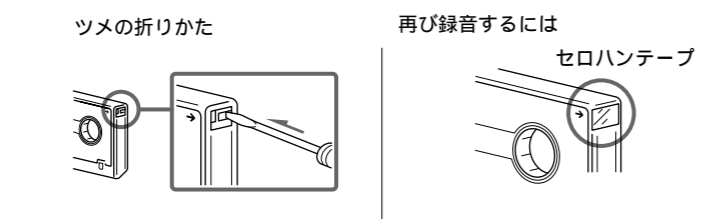
他の機器から録音する



- 本機にカセットを入れます。
- 他の機器の録音する音を出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや☒ジャックなどから録音するときは、他機の音量を変えても録音には影響しません。)
- 本機の●ボタンを押します。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると録音状態にできなくなるので、録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。図に示された部分以外にはテープを貼らないでください。



電源について

| 乾電池の持続時間 | (JEITA*) |
|----------------------|----------|
| 使用電池 | 録音時 |
| ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)使用時 | 約24時間 |
| ソニーマンガン乾電池R6P(SR)使用時 | 約7時間 |

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。(ソニーマイクロカセットテープ使用)

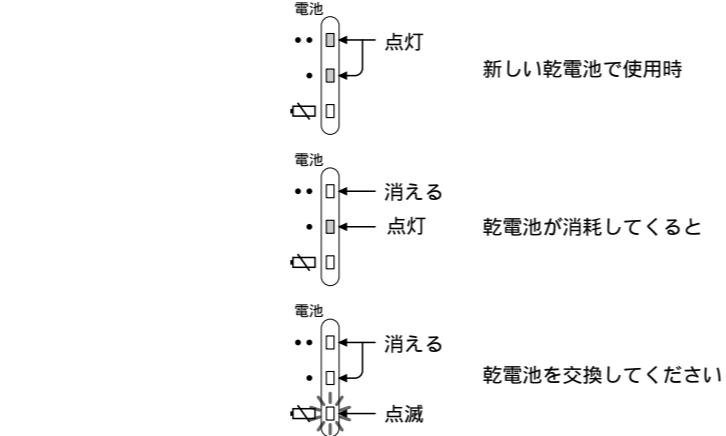
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意

・電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

乾電池を交換する時期

再生 / 録音時の乾電池の残量は電池ランプでお知らせします。電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。再生 / 録音中に☒(電池交換)ランプが点滅したら、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。



ご注意

- ☒ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが動きますが、正常な音で再生できなくなり、録音時には、雑音が録音されたり、録音される音が小さくなりますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどに☒ランプが音に応じて一時的にちらついた場合。
 - テープの動きはじめやテープの終わりで、☒ランプが瞬間的に点灯した場合。
 - 早送り・巻き戻し、またはキュー・レビュー中に☒ランプが点滅した場合。

コンセントにつないで使う

- ACパワーアダプターAC-E30M(別売り)を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
- ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30M(別売り)(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

ご注意

録音について

- カセットテープは「MICROCASSETTE」の表示があるものをご使用ください。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中の音をイヤレシーバーで聞いているとき、イヤレシーバーの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合は、イヤレシーバーをはずしてください。
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると内部マイクでの録音はできません。

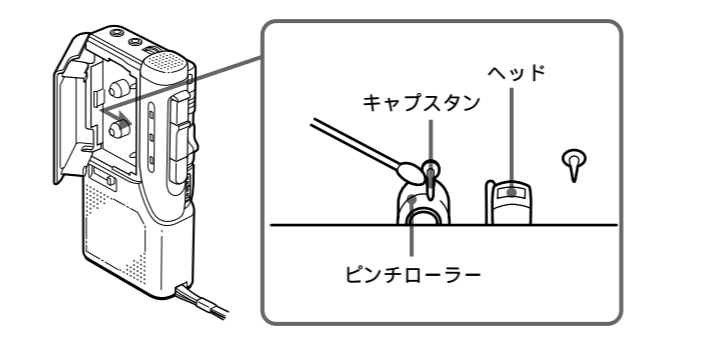
取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ(60　以上)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を開けきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気が多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長い間使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ



よい音でテープを聞くために10時間程度使ったら、◀ボタンを押し込んだあとに、別売りのクリーニングキット(KK-41)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきます。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

| 症状 | 原因 / 処置 |
|---|---|
| カセットが入らない。 | <ul style="list-style-type: none">カセットの向きが正しくない。 |
| カセットふたが閉まらない。 | <ul style="list-style-type: none">◀(再生)ボタンが押し込まれている。 |
| 操作ボタンを押しても動作しない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池の☉と⊖の向きが正しくない。 乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ◀一時停止スイッチが矢印の方向へずらされている。 ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 |
| 録音できない。 | <ul style="list-style-type: none">ACパワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。→ACパワーアダプターやカーバッテリーコードがジャックに差してあると、それが優先されるので、乾電池使用時には本体から抜いておく。 カセットが入っていない。 カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 VOR使用時に感度の調整が不適切。 |
| 録音が途中で止まる。 | <ul style="list-style-type: none">VORが働いている。VORを使用しないときは、スイッチを「OFF(切)」にする。 |
| 前の音が完全には消えない。 | <ul style="list-style-type: none">ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 |
| 再生できない。 | <ul style="list-style-type: none">テープが終わりまで巻き取られている。 |
| スピーカーから音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">イヤレシーバーが差し込まれている。 音量が最小になっている。 音量が絞られている。 |
| 音が小さい。音質がよくない。雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 |
| 再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。 | <ul style="list-style-type: none">TAPE SPEEDスイッチの位置が録音時と違う位置にある。 |
| 再生速度が通常より速い。 | <ul style="list-style-type: none">ファーストプレイバック▶▶スイッチが矢印の方向へずらされている。 |
| キュー／レビュー中、途中で止まる。または動かない。早送りや巻き戻しができない。 | <ul style="list-style-type: none">乾電池が消耗している。→2本とも同じ種類の新しいものと交換する。 |

主な仕様

| | |
|---------------|---|
| トラック方式 | マイクロカセットモノラル |
| スピーカー | 直径36 mm |
| テープ速度 | 2.4 cm/s、1.2 cm/sのスピード切り換え |
| 周波数範囲(JEITA*) | TYPE I(ノーマル)カセット <p>300～4,000 Hz</p> (TAPE SPEED切り換えスイッチ2.4 cm/s時) |
| 入力端子 | マイク(ミニジャック)(プラグインパワー対応)(1) <p>最小入力レベル　0.24 mV</p> インピーダンス　3 kΩ以下のマイク用 |
| 出力端子 | イヤホン(ミニジャック)(1) <p>負荷インピーダンス　8～300　のイヤホン用</p> |
| 実用最大出力(DC時) | 250 mW(JEITA) |
| 電源 | DC 3 V、単3形乾電池2本使用 |
| 最大外形寸法 | 約62.2 × 121.5 × 24.3 mm(幅/高さ/奥行き)(JEITA) |
| 質量 | 最大突起部含む <p>本体 約125 g</p> ご使用時 約170 g(乾電池R6P(SR)2本、マイクロカセットテープMC-60含む) |
| 付属品 | ソニーマンガン乾電池R6P(SR)(お試し用*)(2) <p>キャリングポーチ(1)</p> 取扱説明書・保証書(1) <p>ソニーご相談窓口のご案内(1)</p> |
| 別売りアクセサリー | ACパワーアダプター　AC-E30M(極性統一形プラグ・JEITA規格) <p>カーバッテリーコード DCC-E230</p> 接続コード RK-G64 <p>イヤレシーバーMDR-E123</p> クリーニングキット KK-41 |

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
**付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合にはソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。